



三次・庄原支部

MIYOSHI・SHOBARA

だより

広島県看護協会三次庄原支部会員数

保健師	15人(入会率19%)
助産師	41人(入会率128%)
看護師	752人(入会率70%)
准看護師	55人(入会率11%)
合計	863人(入会率51%)

三次の霧の海(高谷山から撮影)

ごあいさつ

2020年こんな時こそ看護の力を!

支部長 野田 宏美 [市立三次中央病院]

支部長の任に就かせていただき、2期4年目を迎えました。平素より三次・庄原支部の活動にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年は、全国新型コロナウイルス感染で医療界も、経済界も大変な年となってきています。三次においても4月の新型コロナウイルス感染クラスター発生により、医療・介護の連携や住民の方々の感染防止の意識を高めていくことの重要性を実感しました。看護職の身に付けている感染防止対策を施設でも在宅でも実践していけるように連携をもっていきたいと思っています。

その一つとして一昨年度から開始したまちの保健室事業の「高齢者サロン」で密を避けながらの活動は有意義ではと考えておりましたが、中止を余儀なくされました。そこで、関連職種地域連携事業での多職種研修会では、4月の新型コロナウィルスクラスター発生を振り返り、第2波に備えWeb研修会を計画致しました。多職種が連携を取り、情報を共有しながら、それぞれの役割が果たしていけるように研修を生かしていきたいと思っています。

その他、今年度の事業計画は、看護職の人材育成・定着推進事業として、BLS研修会、看護研究サポート、身体抑制を考えるシンポジウム、災害看護研修会等を計画実施しております。会員皆様方のより多くのご参加を頂き、こんな年だからこそ、この地域の看護職の支援につながっていけるよう、支部役員一同頑張っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

新型コロナウイルスに向かう

理事 谷口 理恵 [庄原赤十字病院]

COVID-19ウイルス感染症により、県北地域にも多大なる打撃を受けました。

感染対応にご尽力くださった皆様に感謝申し上げます。

さて、7月に入り再び増えていく陽性者の数字と様々な情報は、日本中の不安と混乱を増強させています。医療崩壊が危惧される中、看護師はどんな時も医療の最前線でケアしています。感染リスクの中、使命感と責任感を以て役割を遂行する皆さんに感謝の気持ちは尽きません。時に心が切れそうになりますが、多くの支援が寄せられています。仲間と紡ぎながら乗り越えていきましょう。

支部役員全員集合!!

役員一同支部活動が、会員の皆様にとりまして有意義なものになるように頑張っております。ご協力をよろしくお願いいたします。



後列左から…小河(教育担当) 竹上(社経担当) 田坂(財務担当) 坂上(社経担当) 森山(教育担当) 中田(総務担当) 吉原(総務担当)
前列左から…新川(副支部長) 谷口(理事) 野田(支部長) 佐藤(副支部長)

新役員紹介



副支部長 新川 篤子

[三次地区医療センター]

今年度より三次・庄原支部副支部長をさせて頂きます。他職種連携や、まちの保健室などの事業の取組みを通して、地域とのつながりや施設のなかにとどまらず活動の場を広げているのを感じています。これから皆様のちからをお借りしながら頑張っていきます。



幹事(総務) 中田 千代里

[ビハーラ花の里病院]

今年度より幹事として関わらせて頂くこととなりました。初めてのことで支部の活動がどのようにされているのかわかりませんが、役割りを果たせるように頑張りたいと思います。



幹事(社経) 竹上 敬子

[庄原市立西城市民病院]

コロナウイルスによってさまざまな事業が中止になり今後このような環境の中で形を変え看護の研修方法を模索していかなければいけない大変な時期が来たかなと感じています。社経を通じて多方面の施設の方と交流し私自身学習し自施設に貢献できればと思っていますのでよろしくお願い致します。

事業報告 ～令和元年度後半から2年度～

令和元年度 看護研究発表会・令和2年度看護研究サポート研修会



令和2年2月8日(土)に看護研究発表会を、市立三次中央病院で行いました。

看護研究サポートは、広島県立大学保健福祉学部看護学科 母性看護学を担当されている伊藤良子先生から、研究者は看護研究の基礎について学習する機会を得て、その後先生から指導・助言を頂きながら研究を進めていきました。そして、発表会当日、68名の参加者のもと、サポート2題と一般応募3題、計5題の発表の場で、研究の成果を発表することができました。会場から積極的に質問もあり活発な意見交換ができ、研究者の行った看護の共有につながりました。また、“災害時の対応”など私達の身近で今まさに起こりやすく検討する必要がある内容もあり、今後の対応につなげていく必要性を感じました。



看護研究発表会

令和2年度の研究サポート事業もスタートし、コロナウイルスの感染拡大により開催が懸念されましたが、今年度は3施設4題の申し込みを頂き、6月27日(土)に学習会を開催することができました。研究者の人達は、先生から助言・指導を受けながら研究に取り組んでいます。その成果を、令和3年3月27日(土)研究発表会で、皆さんで共有し看護実践に活かしていきましょう。

小河 朋子 (広島県立三次看護専門学校)



看護研究サポート研修会



令和元年度 組織強化 研修会『医療安全』

令和元年10月26日に三次中央病院で組織強化研修を開催しました。

広島県看護協会 谷口理恵理事より 看護協会の動向として地域包括ケアの推進、看護職の人材確保、定着事業についてのお話がありました。

研修会は医療安全をメインテーマに2名の講師の先

生をお迎えしました。

研修には46名(会員43名、非会員3名)の参加があり、研修後のアンケートでは「内容も分かりやすく、医療安全の基本について理解できた」「賠償保険制度の理解が深まり、再確認できた」などの感想が在りました。

佐藤 美樹 (庄原赤十字病院)

「看護職は医療安全のキーパーソン」

日本看護協会 看護開発部 看護業務・医療安全課 慶越 真由美 先生

医療安全推進のはじまり、看護職賠償責任保険制度と近年の医療を取り巻く状況、看護職の医療安全における役割という内容で講義をしていただきました。

在院日数の短縮により、医療提供の場が医療機関か

ら在宅・さらにあらゆる場に変化し、高齢者への治療に伴う安全上のリスクの課題、短い入院日数による業務の煩雑化などの中でエラーが起こりやすいたことが分かりました。看護師は「業務中断」「時間切迫」「多重課題」といったヒューマンエラーを誘発する要因に常に囲まれており、危険とプレッシャーにさらされる中で、看護を実践していることが指摘されています。医療関係者の中でも看護職は患者に最も身近な存在であり、起こりうる医療事故を防ぐ役割も担っているとされています。看護職はその実践において安全で安心・信頼される看護を提供するために研鑽に努める事、法的責任などについても話されました。また、医療安全で重要なことは「患者と共に安全を創る」「患者のための安全」であることを学ぶことができました。



「看護職賠償保険制度」

株式会社日本看護協会出版会 損害保険部課長 吉川 隆志 先生

実際に起こった事故事例を提示していただき、「日本看護協会 看護職賠償保険制度」創設の経緯と概要を講義していただきました。看護職が安心して働き続けていくために保険制度に加入することの必要性が分かりました。



令和2年度事業

実施月日	事業	場所
令和2年6月27日(土)	看護研究サポート研修会	三次地区医療センター
令和2年8月22日(土)	BLS研修会	市立三次中央病院
令和2年9月12日(土)	多職種連携研修会『コロナ禍における医療・介護の問題点と第2波に備えての連携のあり方』	web研修
令和2年10月3日(土)	社会経済研修会『身体抑制シンポジウム』	庄原赤十字病院
令和2年11月7日(土)	組織強化研修会『災害看護』	市立三次中央病院
令和3年2月27日(土)	看護研究発表会	市立三次中央病院

New Face!

頑張っている新人看護師紹介!



看護師 **田端 花帆** [庄原赤十字病院]

疾患や治療、看護の知識など学ぶことが沢山ありますが、先輩方の丁寧なご指導のもと看護師として成長できるよう日々努めております。その中で人の命を預かるという責任の重さを痛感しながらも患者様が回復していく貴重な時間に関わらせていただける看護師という職業の素晴らしさも実感しております。

これからも初心を忘れることなく、患者様の疾患だけでなく心も看ることができる看護師になりたいと思っております。そして患者様の目標と一緒に考え、それに向かってともに歩んでいけるように努力していきたいです。

看護師 **谷岡 咲良** [三次地区医療センター]

不安と期待を胸に抱き、入社してから5か月が経とうとしています。今でも、きちんと患者様のことを看ることができているのか、思いに寄り添うことができているのか、看護師として不安な毎日を送っています。しかし、患者様の笑顔や回復していく姿を見ることが日々のやりがいや頑張ろうという気持ちに繋がっています。私は学生時代から、患者様の身体のケアはもちろん、心のケアもできる看護師になりたいと考えていました。これからも自分の理想の看護師を目指して日々患者様と関わり、勉強・経験を積んでいきたいと思っております。



編集後記

支部便りは、年に1回の発行ですが、支部活動が皆様にお伝え出来るように頑張ります ♪

[発行日] 令和2年10月1日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 三次・庄原支部

〒727-0013 広島県庄原市西本町2-10-2 OKUDAハウス101

TEL/FAX:0824-72-5015 E-mail: s-miyoshi@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 野田 宏美